

# 蔵王山安善寺

◆編集・発行人◆

近藤龍弘

〒940-0052  
長岡市神田町1丁目4番地10  
TEL.(0258) 32-2811

◆スタッフ◆

小林国二 小林善秋 高橋潔 加瀬由紀子  
室賀清輝 近藤マリ子 近藤善信

後援・株式会社アサヒ  
印刷・(株)北越時報社



本堂前にたたずむ藤本幸邦老師の書かれた記念碑

ご家族の皆さままでご覧ください

## 花火のように

翠巖龍弘

今年の夏も日本中で花火大会がありました。長岡でも例年通り八月二日・三日と大花火大会が行われました。特に今年は「震災復興祈願・頑張れ被災地の人々」との願いを込めた壮大なスターマイン「フェニックス」が二日間打ち上げられました。見物客全員が感動し、なかには涙を流された方も多数いられたようです。

花火は「パー」と開き、ドーンと大音響とともにサーアと消える、その潔さが日本人の多くの人々の美意識と一致して人気があるのではないのでしょうか。また無意識の内に囚われ、執着のなさを花火に見出し、憧れを感じている様にも思われます。

先日「ぬれせんべい」というお菓子を頂戴いたしました。食してみると大変美味しく癖になるような味わいでした。私の先入観念では「せんべい」はパリパリしていないといけない物

と決め付けておりましたが、湿った「ぬれせんべい」との出会いに大変なショックを受けました。

最初にこれを作った人はきつと囚われ、執着のない人だから作り出すことが出来たのだらうと。それに比べ自分はなんと固定観念に縛られていたかと反省させられました。

『維摩経』の中の挿話に「ある時維摩居士が病臥した時、釋尊は居士へのお見舞いのために弟子の一人を派遣されようとするが、命ぜられた十大弟子たちは、いずれもその役を辞退する。そこで釋尊の命によって文殊菩薩がお見舞いに行くことになる」と、舍利弗をはじめ十大弟子は文殊菩薩に随行を申し出る。見舞いへ行つた文殊菩薩と維摩居士とのあいだで素晴らしい議論のやりとりがあり、そこに来ていた天女が感激し、天の花を部屋中にまくと、十大

弟子以外の者の身体に触れたものは、そのまま地面に落ちるが、十大弟子に降りかかった花は身体や着衣にくっつき、その花を振り落とそうとするがなかく「落ちない」という話があります。

その後天女と舍利弗の会話がづくのですが、この挿話は思慮や分別を離れている居士や菩薩には花が付着しないが、舍利弗ははじめ十大弟子は出家者は花で飾るとはふさわしくない、何々でなければならぬという囚われ、こだわりがかえって花が付着してしまうという話ではないのでしょうか。

私共は囚われ、執着などのため自由な発想から遠のき、悩みの原因を作りがちではないでしょうか。花火の如く、後を引かず、囚われ、こだわり、執着から少しでも離れることが、新しい発想が生まれ、心安らかな生活に少しでも近づくことになるのではないのでしょうか。

知と愛とは同一の精神作用である。

それで物を知るにはこれに愛せねばならず、物を愛するのはこれを知らねばならぬ。—西田幾多郎『善の研究』



# 【いのちの電話】

## 一人で悩まないでください

近藤 マリ子

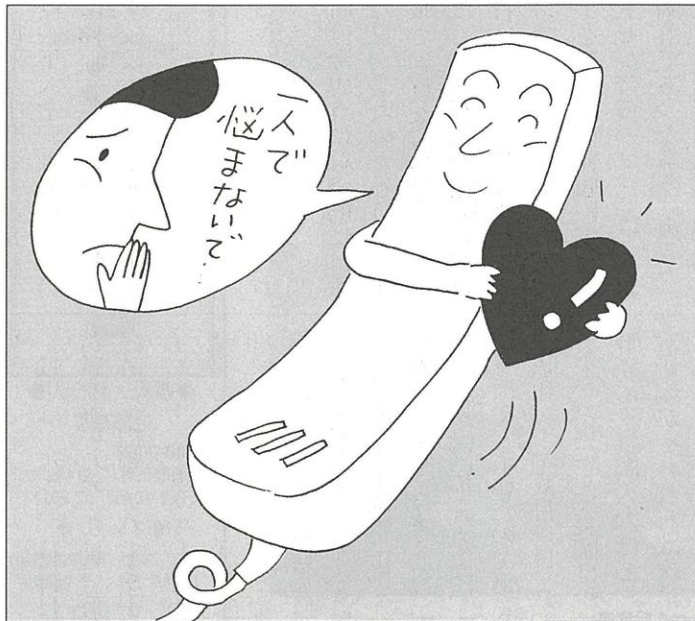
いのちの電話とは、自殺予防を主な目的とした悩みごとを「二十四時間眠らぬ電話」として電話相談をしている機関です。過去五年間を振り返ってみても年々自殺者は増える傾向にあり、その数は年間三万人を超え、その中でも新潟県は毎年多いほうから三番以内に入っています。

「二人一人のいのち」を大切にする立場から、孤独の中で不安や悩みを持つ人々の良き隣人として、そのような方々の「話し相手となつて」危機を乗り越えて自らの力で生きる勇気を見出し、いけるように、電話での対話を通して援助していくことを目的としています。

電話相談に当たるボランティアは九ヶ月以上の訓練を受けた人です。相談を受ける人は自分の名前を名乗ることはありません。秘密は必ず守ります。また相談

する人も名前を名乗る必要はありません。安心してダイヤルを回してください。そのことよって一人で悩んでいて出口がみつからなくとも、見つかるかもしれません。折角授かった尊い「いのち」を大切にしてくださいと思います。

この活動を資金面から支えているのが資金ボランティアです。この活動の運営費の大部分は、一般市民からの寄付（維持会員と賛助会員）によって運営されていますが、昨年で「新潟いのちの電話新潟本部」は設立二十周年を迎え、「新潟いのち

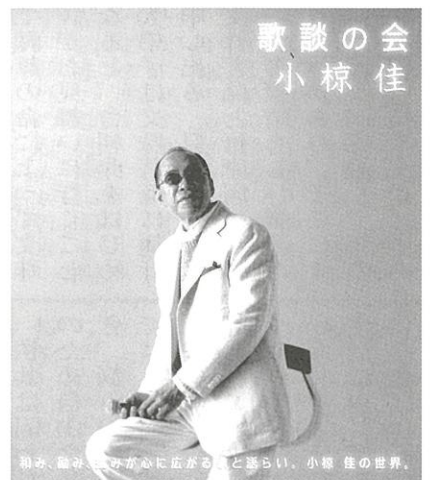


ちの電話長岡支部」は平成六年八月二十七日に設立されましたので、昨年で十周年を迎えました。その間資金面の援助をする為に毎年、イベントを企画・実施してまいりました。

平成七年九月「羽田健太郎と東京シンセサイザー」。平成八年九月「千秋が原ふるさとの森「花いっぱいフェア」」出店。平成九年六月「チャリティ落語」実施。

平成十年九月「谷川俊太郎とディヴァバンド」。平成十一年九月「佃一生とチューン・デメヒコ」ジョイントコンサート。平成十二年十一月「吉田兄弟」津軽三味線。平成十三年九月「伍芳コンサート」。平成十四年「かづきれいこ・体も心も元気になるメイク」講座。平成十五年「新潟県立中央高等学校ダンス部公演」等を実施し、その収益を本部に寄付してまいりま

したが、相談員の教育・電話代等を考えますと大変厳しい現状です。一人でも多くの方に維持会員になっていただき、またイベントに足を運んで頂いて、ご協力お願いできればと思っております。



歌談の会 佳小椋  
2005年10月5日(水)  
長岡市立劇場大ホール  
午後5:00開演(午後5:30開演・北3階7号) A席4,000円

今年、昨年震災で実行できなかった十周年記念として、昨年計画いたしました「小椋佳・歌壇の会」を再度との声に応え開催する運びとなりました。

【お問い合わせ】  
・安善寺  
電話(32) 2811  
・新潟いのちの電話後援会  
長岡支部事務局  
(北越銀行広報文化室内)  
電話(39) 7305

■日時 十月五日(水)  
午後六時三十分  
■場所 長岡市立劇場大ホール  
■金額 S席 四五〇〇円 (指定席)  
尚、相談電話は  
0258(39) 4343  
025(288) 4343  
二十四時間、何時でも何処からでも、電話料無料がかかります。



# 死生命あり 富貴天にあり

(論語 顔淵第十二)

株式会社紅屋重正 代表取締役 椿 紀代司

昭和九年、生まれる二年前に五・一五事件、生まれた二年後には二・二六事件と、考えるに、まさに日本の軍国主義濃厚時代の狭間に命を受けこの世に生まれた。祖父さんの思い入れとスポンサーで、アルバム「七五三」男子五才の記念写真がなんと軍服姿に軍刀を下げ凛々しく写っているのが象徴的である。

昭和十五年春、尋常小学校一年入学。表町から中島に移転し二年目の表町小学校校舎へ通学する。国語「サイタ サイタ サクラ ガタイタ」「コイ コイ シロコイ」「ススメ ススメ ヘイタイスメ」。当時は今思うに経済的にはまだ良かったのだろう、学生服でも夏冬合着まであった。夏は麻系の霜降り、合着はサージ、冬はコールテンで、夏は学帽に白のカバンを着け、革靴履いてランドセル背負って、とてもお洒落であったように思う。 俄に暗雲漂い昭和十六年十二月八日、太平洋戦争勃発。国民学校に名を改められ、戦時教育へと移行行く。町中毎日々々あちらこちらで出征兵士を送り出す光景と軍歌「天に変わってふりをうつ、忠勇無双の我が兵は、歓呼声に送られて…」の絶え間がなかった。

い泣ける日々を送った。 戦果は一年未滿、日に日に苦戦を強いられ、生活は統制経済と食糧難、それでも函を食い縛り「戦地の兵隊さんのお陰：」と合掌し、粗末な食事でも感謝していただいた。 国内各地に空爆が始まり、残された老人と婦人が防火訓練や、本土決戦に備え竹槍の訓練まで。今考えれば滑稽としか言いようがないがマジにやっていたのである。 昭和二十年八月一日、B29襲来。一夜にして長岡は焼け野原に。長岡人のほとんどが新潟がやられれば次は長岡と安易に考えていた矢先の事、次いで広島、長崎に原爆投下。後に考えるに原爆でなくてがせめてもの慰めであった。八月十五日終戦。子供心に、いかなる事があったとしても神国日本が敗戦に至るなどとは夢にも信じられなかった。国民学校から尋常小学校に戻り、何と小学六年卒業記念写真は膝の破れた学生服をまとい、全員が見るからに栄養失調のこけた顔、みすばらしそうな時代を投影している。

米、味噌、醤油、塩、砂糖に至る全てが配給制度。従ってヤミが横行し、物価が高騰し、お金より物「腹一杯炊いた白いご飯が食べたい…」と何度思ったことか。



学校制度も六・三・三制の新制中学施行。教科書も儘ならず一枚の大判紙に印刷されたものを折りたたみ、二人に一部という酷さ。後に配給された教科書も随所が墨で塗りつぶされ、GHQの検閲を受けたものであろう、日本の歴史はことごとく替えられた。

復員、引上げなどで徐々に活気を呈し、昭和二十二年十月に昭和天皇戦災見舞来岡され、大手通りの北越製紙本社(現北越銀行本店)屋上より広く市内を見渡し見舞われました。この時、政府の依頼により事前に申請した限られた原材料で大手饅頭をおつくりし献上し、たった一個の饅頭を家族で切り分け味わったことを恨めしく覚えている。 敗戦国と言えど復興は順調に進み、以外にも早かった。昭和二十五年、現在の神田小学校校辺に新潟県産業博覧会が開催され町中活気と人々に気色が戻り、その会場でテレビジョンの原型を見たのが印象深かった。 昭和二十八年、ラジオの民放も始まり、大和百貨店長岡進出、続いて三十四年の皇太子御成婚に合わせテレビ放映も開始され、池田内閣は所得倍増論を打ち上げ、一気加勢右肩上がりのインフレ経済へ。新制中学卒の初任給三千五百円が二、三年で五千五百円へと上昇。昭和三十九年には東京オリ

ンピックが開催され「今や戦後ではない」と言われ祭典の感動に浸った。 甘ければ何でもよし、作れば売れるの毎日に追いまくられ、どうしたら売れるかの今日では考えも及ばない、全ての業種が設備投資と人員確保に邁進した時代から、昭和四十一年頃に少し陰り始め、落ち着きを取り戻し、四十五年頃に第一次不況が始まり、第一次オイルショックに出合う。五十年初には今後は安定経済が唱えられたものだが、角さんの日本列島改造論により、上越新幹線開通、バブル経済が続く、ご承知の通り崩壊の日を迎える。通期の節々に極端過ぎるくらいこの時代変遷に出くわした感がない。 「目がさめたら生きていた」生きている(自我)ではなく、生かされているのだ…と聞かされ「前世から生まれ変わり、この世で毎日修行させられているのだ」とも教わる。命有る限り、清貧でも強く、明るく、楽しく生きたいと願う。 合掌



# お陰様で『客殿』も年末までに完成予定です

左のコンピュータグラフィックスは客殿の完成予定画像です。

お陰様で皆様方の御協力を頂き、本堂の修復は六月

中旬迄に終わり、位牌堂の方は昨年と同程度の地震でもお位牌が落ちない工事を

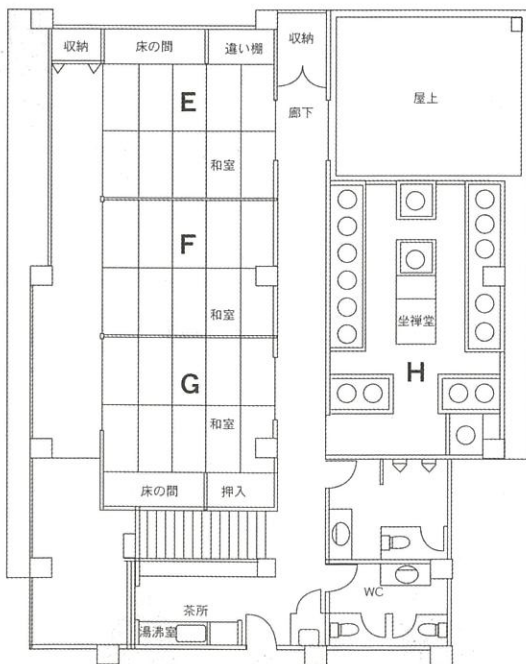
六月いっぱい終了させて頂きました。八月下旬から

はいよいよ客殿の工事に入り、完成は今年の十二月下旬の予定です。

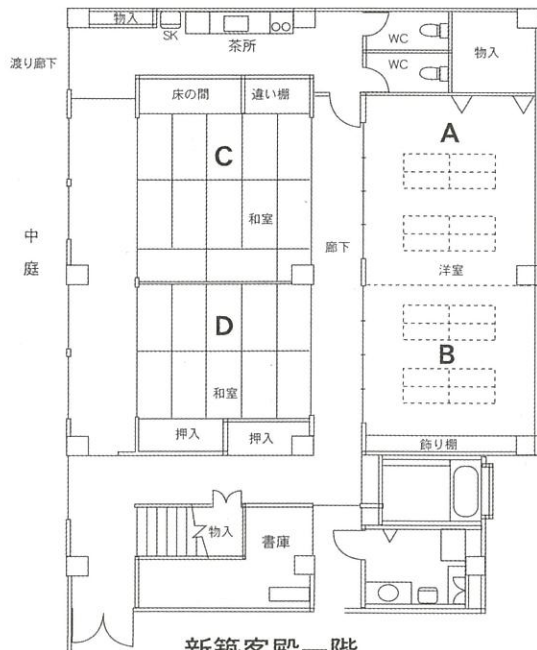
新築される客殿は鉄筋コンクリートの二階建てで、延べ床面積は一〇七・五三坪

です。下の平面図は右が一階部分、左が二階部分です。一階の「A B」の部屋は床がフローリングで椅子席で、檀信徒の皆様の控室、法要後のお斎場、写経会、ミニ講演会・勉強会など、多目的に使っていただく予定です。「C D」は、座敷で二間

合わせると約二十二畳で、檀信徒の皆様の控室、俳句の会、法要後のお斎、ご希望があれば法事後のお斎場としても使用していただきます。二階「E F G」は十畳三間の座敷で、法要での寺院の方々の控室、法事後のお斎場などとしても使用していただきたいと思います。定例坐禅会、十五人位までの参禅希望者、研修道場など



新築客殿二階



新築客殿一階

に利用していただきます。他に二階、二階共に茶所、トイレもでき、皆様方には気楽に気持ちよくお使いいただけるものと、

今から完成を楽しみにしております。

心の時代と言われて久しいですが、安善寺の本堂・庫裡(客殿)などを生かし、特に椅子席の部屋を活かし、檀信徒の皆様をはじめ、地域社会の核となるべく、活動していきたいものと念じております。

建物は飾りではありません。皆様方にも大いに利用していただき、心が落ち着く、心豊かにする場所であってほしいと念願しております。

龍弘 合掌

他の諸宗教にとっては祈りが宗教生活の核心を構成しているのと同じように、仏教者にとっては瞑想が宗教生活の核心である。

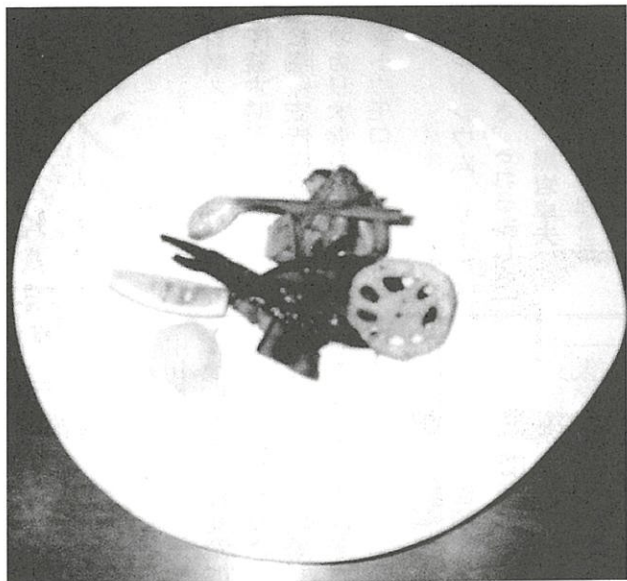


お盆の十二日、埼玉県のお檀家の方からたくさんのお野菜が送られてきました。その方はお料理の先生で、自身で野菜も栽培され、夜は小料理のお店もやり陶芸までされる方で、私はお聞きする度に『世の中には本当に凄い人がおられるんだな』と驚くばかりなのですが、その方は毎年収穫された野菜を「お盆に使って下さい」と送って下さいます。今年は大きな夕顔が三本に茄子が百個も入っていました。

# 季節感豊かな長岡野菜で食卓を賑わす

近藤マリ子

その百個の茄子をどうするか？が私の課題になりました。三十個は他所に差し上げましたがあとは、十日の墓地施食会に使うために別に残り、茄子漬・焼茄子・てんぷら・味噌汁胡麻和え・それに戴いたレシビの中で「翡翠揚げ・豚肉添え」というのがありましたのでそこからヒ



季節野菜の料理

箱を開け、数の多さに吐胸をついた茄子でしたが、お盆で家族も増えたのも幸いして、三日間で食べ尽くしてしまいました。一概に茄子と言ってもその種類も多く、料理の範囲も野菜の中では一番多いのではないのでしょうか？日本料理はもとより、油との相性も良いのでイタリア料理・中華料理・韓国料理にも多く使われています。先日お寺で会があった時に誰かが指折り数えています。

した。何を数えているのかと思つて聞いてみると「長岡野菜知っている？」という事でした。普段は考えもしないで食べている野菜が実は長岡野菜と言われているものですが、そんな中でも真っ先に数えられるのが「長岡巾着なす」です。『盆だてがねえ、茄子の皮の雑炊だ』長岡甚句に唄われているのがこの茄子のようです。果肉がしっかりとっていて、まさに丸くして巾着（袋物の名）のようにしわのよつた茄子で蒸かして辛子醤油で戴くととても美味しいものです。ちなみに、皆が指折り数えていたその他の長岡野菜とは、梨なす。洋梨に似た形とみずみずしい甘さから、この名がついたそうですが、皮も実も柔らかく浅漬けにすると本当に美味しく、暑くて食欲のない時などこの漬物があれば何にも

いらぬ位です。このような美味しい茄子に恵まれた長岡市の茄子の栽培面積と消費量は日本一とか。他に夕顔の実を長岡では「ゆうごう」と言い、鯨汁には必需品だといいますが、私は嫁いで三十一年間この鯨汁は一度も作った事がありません。ですから最初の頃は夕顔はお盆に仏様にお供えするあられにするものだと思ひ込んでいたほどです。十三日になると朝



から大きな夕顔二本くらいの皮を剥き、中の種を取り除いて、一センチ位のサイコロに切つて本堂とお墓にあげる「あられ」を作るのがお寺の台所の朝一番の仕事でした。他には、糸うり・神楽南蛮ずいき・肴豆（枝豆）・土垂れ（里芋）・おもしろい（食用菊）・体菜・長岡菜（冬の保存食の漬菜）等、地震で痛めつけられても長岡野菜は健在で食卓を賑わしてくれています。



# 第六回KAKA笑の会

## シンポジウムとオカリナ演奏

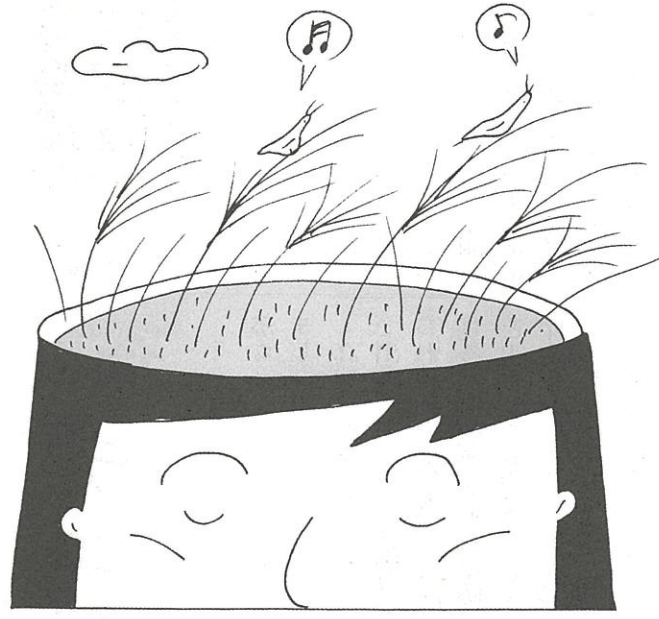
■日時 十月十四日(金)  
午後六時半〜八時半

■会場 安善寺本堂

♪オカリナ演奏  
演奏トウモロウ・ウインズ

\*シンポジウム「サービズ  
する楽しさ、される楽しさ」  
\*パネラー／黒岩卓夫

(萌気会理事長)  
大和町に全国にさががけ



て地域医療の里を造った功績は高く評価されている。東大在学中に学生結婚した秩子さんとの七人の子育てエピソードも愉快です。医療福祉の分野からのご意見を。

\*パネラー／吉崎孝

(ホテル・ニューオータニ)

長岡総支配人)

大学卒業と同時にニューオータニに入社、企画面から

グループの中核を支えてきた。ナスパニューオータニは立ち上げから関わるなどホテルマンのエリートとしての様々な逸話が聞けそうです。

\*パネラー／岡元真弓

(きものブレイク副社長)

百三十人を越える社員の中には三十人ほどの障害のある人たちも雇用。女性海外派遣団の団長として、北欧に研修に行くなど、女性の地位向上にも寄与。十日町の女性の相談役でもある。

\*進行／加瀬由紀子

(KAKA笑の会代表)

異色のパネラーの皆さんが、ひと味違う濃いシンポジウムを盛り上げてくださいます。会場からのお声も大歓迎。  
\*チケット(千円)は各実行委員、安善寺(32/2811)にておもとめください。

### 読者からの便り

#### 歩々清風起

柏崎市●会田ひとし

売店の前。物色している四、五人の足元にポケットティッシュの空袋が落ちていた。「何か落ちたわよ」「これ、これなら以前から落ちていたんだわ」。一、二分後に通りかかった若い婦人がこれを拾うと、店の隅の塵箱へ歩を移していった。臆病な目がじっとそれを眺めていた。その瞳の底に、今朝宿を発つ時掛けてあったお軸の「歩々清風を起」と云う文字が温かく写った。

#### 蝉の抜け殻

長岡市●村田昌子

我が家のねずみ(ねこではなく)の額くらいの小さな庭に今年も蝉が穴を開けて出てきました。蒸し暑い夜、我が家で夕食をして帰る孫達がガラス戸を開けようとしたら、蝉が止まって脱皮をしているところでした。

孫達は初めて見る光景に目を丸くして驚いていました。私は「今、赤ちゃんが生まれるところで、朝になると羽根を広げて飛んで行くよ」と話をしました。孫達は、そーっと戸を開けて外に出て車に乗って帰っていききました。翌朝、そこには抜け殻が残っていました。



三十年くらい前の八月十三日、一家で賑やかにお盆のお詣りに行った時、お墓に止まった蝉が脱皮の真っ最中。三人の子供達はお詣りどころではありませんが、脇を通る人達が止ま

### お別れ

今年には地震以来初めてのお盆です。ご先祖様に一家全員ケガもなく、無事であったことに礼をのべて、手を合わせて来ました。

(平成十七年七月〜八月末)

妙喜寺八世観海龍静大和尚

(室賀龍静様) 七月三日 寂

長岡市東神田

金子ミエ様 七月廿日 寂

東京都大田区

山本越夫様 八月十二日寂

長岡市琴平

ご冥福をお祈り申し上げます。



# 旬歌 愁灯 [その八]

## ビッチェズ・ブリュー

加瀬由紀子

先回、洞爺湖のセレブなホテルについて書いたところ、宿泊についてお問い合わせをいただいた。インターネットの「ザ・ウインザー洞爺」のホームページを開いていただければ、料金、宿泊の予約の確認ができるが、レストラン、ミシエル・ブルラスと深山荘の予約は全く別なので間違えなきように。おすすめは昼食だ。

さて、非日常生活を満喫した翌日は札幌泊まりだった。ススキノでバーを経営する友人と会うためである。ホテルを遅くチェックアウトしても、なつかしい再会にはまだ時間がたっぷりあった。取りあえず昼食は新鮮な海の幸のお寿司でもいっただこう、という提案が即採用される。まずは近くの大きな港、「室蘭」へとレンタカーを走らせる。室蘭水族館ですしネタを選びながら、トドのショーも観ようという魂胆もあつて。高速道路を室蘭インターで出て、白い巨大な吊り橋「白鳥大橋」を海側へと降りる。道の駅「みたら室蘭」と書かれた施設ですしやを探すことにする。何しろグルメ四人連れである、おいしいものを探す手間は決して惜しまないのだ。

道の駅「室蘭」はヒューヒューと潮風がすさぶ海岸沿いにあつた。駐車場には月曜日とあつてか、他に車もない。まもなく七月というのに寒い。震えながら中へと急ぐ。大画面のテレビの前で男が一人、長いすに寝そべっている。奥にあるレストランにもひと気がない。所在なさそうなレジの女性にすしやの場所などを確認する。

こちらも所在なく脇の通路の展示ケースを見やれば、船の模型がずらりと並んでいる。ブラジル丸、アルゼンチン丸、様々な戦艦。港湾都市室蘭は製鉄の町、造船の町だったのだ。名艦の数々を大洋へと送り出した時代があつたのか。対岸に白く閃光を放つ巨大な鉄塔を見かけたのは製鉄会社の高炉に違いない。

向かい側の室蘭水族館も、遊びに来ていた保育園児の小さな集団のみで寂しい。目的のトドはといえば、歳をとってしまつてショーもやつと、という説明。主人公は浴槽を大きくしたようなゲージの中で濁つた目でこちらを見ている。以前ショーを観た友人の話では、最盛期の半分の大きさになつてしまつたそうだ。

ときどきすさまじい声で吼えるのはかつての栄光の名残りだろうか。マイルス・デイビスの名作、「ビッチェズ・ブリュー」の冒頭の咆吼するトランペットを連想させる。「ビッチェズ・ブリュー」はモダンジャズの歴史のターニングポイントとなつた作品だ。初めて電子楽器との融合に成功したのが一九六十年代のこの作品だった。以後、電子音楽という呼び方すらなくなるほどにシンセサイザー、電子ペーソ等の使用が日常となり、ロック、ジャズの垣根も越えて、時代は音楽を変えて行つたのだ。

シャッターの降りた商店街の一隅に目的のすしやをやつと見つける。十人も入ればいっぴいになる薄暗いカウンターに腰を下ろす。店主は七十代の兄弟で、私たちよそのの我がままをきいて握ってくれる。おすすめのパフンウニは甘く活きがいい。きけば、回転寿司が郊外に進出して客足がばつたり途絶えたという。港町室蘭。一時は二十万近かつた人口が今は半分に減つてしまつたと古老たちは嘆いた。製鉄の町は老いて濁つた目のトドと重なつて、眠つたような地方の都市になつてしまつたのか。...

寿司の味をわかつてくれるお客も今は少なくなつてねえ、とおみやげの海苔巻きまでサービスしてもらおう。あがり運んできた、腰の曲がったおばあさんも往時は美しかったのだろう。薄日が射しているのに肌寒い室蘭の商店街を横切りながら思う、かく言う我ら団塊の世代も定年が見えてきて、退職した人もいるし、既に両親を失つたり介護している者、もう他界した友人もいて徐々に落日へと階段を下り始めているではないか。...

私は一時代を画した「ビッチェズ・ブリュー」の、アフロ調のレコードジャケットを思い浮かべた。それは不思議に六十年代に輝いていた室蘭のイメージと重なるのだった。そして白鳥大橋の奥に港町室蘭は遠くなくなつて行つた。

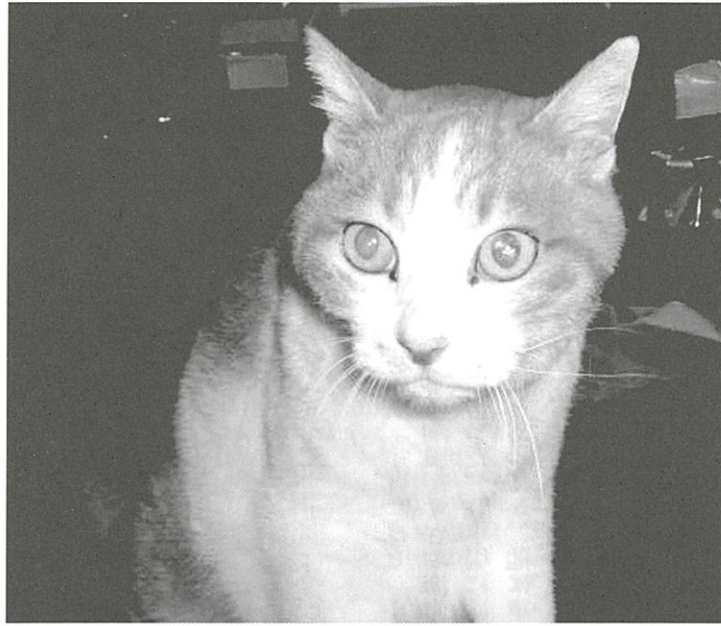
戦争に何の倫理があるのだ。大義のための戦、大義なんて何だ。痴者の寝言にすぎない。松岡欣平「新版きけわたつみのこえ」





# 居心地のいい場所を 見つけました

ペコのひとりごと



今夏は震災の影響でしよ  
うか？ 暑かったわりには  
蝉の鳴き声がいつもの年と  
比べ少なかつたような気が  
します。それに八月に入って  
からは雷雨の日が多く、突  
然降り出してくるものです

から、折角お母さんが昨年  
漬けた梅干の紫蘇を「ゆか  
り」にしようとして一生懸命干  
し完成間近だったのです  
が、突然の雷雨、がっかり  
していました。

雷雨と言えばお盆の十三

日早朝五時頃から叩きつけ  
るような激しい雷雨。見る  
見るお寺の駐車場も水がつ  
き、早朝からお墓のお掃除  
にいられた人も車から降り  
る事が出来ず帰っていかれ  
た人が多くいました。家の  
中にいたので解からなかつ  
たのですが、墓地の奥の方  
はいつとき膝位まで水があ  
つたこと。そんな中  
「ビーチサンダルと海水パ  
ンツでお墓掃除をしまし  
た」とか、「お盆に長靴を履  
いてお墓参りをしたなんて  
初めてです」なんて言っ  
ていた方々がおられました。

お盆過ぎの土曜日の夕  
方、外での用を済ませ部屋に  
入った途端物凄い落雷で部  
屋の電気が消えてしまいま  
した。何分くらい消えていた  
でしょうか？ 電気がつい  
て周りを見まわしたら、何が  
おこったのでしょうか、ほん  
の数分の間にまるで魔法に

かかったようにさくらの顔  
が倍に腫れあがっているで  
はありませんか。夕方外に出  
て蜂に刺されたようです。獣  
医さんに連れて行ってもら  
い事なきをえたようです。

そんな事があっても私は  
最高の場所をみつめました  
ので、ゆっくり休む事がで  
きます。本堂の真ん中の住  
職が座る大きな布団の上な  
んです。今年は庭の方の建  
物が壊されていないので、何  
とも良い風が入り寝心地良  
いことこの上なしですが、  
「ペコにとっては良い場所  
でも毛が落ちて大変だ  
よ！」と住職の声が聞こえ  
てきました。夜は虫の音が  
聞こえるようになりました  
ので、もう何処にいても熟  
睡できそうです。

ニヤーン！

## 編集 雑感

夏が暑いのは当  
たり前のことです  
が今年の夏は雨が  
良く降る年でした。それも  
突然のように物凄い降り方  
で、やはり地球がおかしく  
なっているのかなと心配に  
なってきました。

長岡まつりは幸い雨も降  
らず、県外の友人が日本一  
といわれる長岡の花火を一  
度観たいということで遊び  
に來ましたので、信濃川の  
土手まで久しぶりに出かけ  
てみました。友人曰く、  
「長岡の花火は休みなく上  
がるんですね。綺麗だけ  
なく身体に響くんですね。  
凄いですよ」。長岡人とす  
ればその評価に「然も有り  
なん」「感動して帰ってね」  
というところです。

でも、今年のファイナレ

### お便り原稿用紙

季刊誌では、壇信徒・読者の皆  
さまと、ごいっしょに誌面をつ  
くりながら、コミュニケーション  
を深めたいと思います。  
ハガキまたはお手紙、ファック  
スなどで、お気軽にお便りをお  
寄せください。お待ちしております。

#### 原稿の例

- 思い出話／ご家族、ご先祖、お寺の思い出話など。
- 私に言わせて／家事や子育てのお話、身近な出来事など。
- 教えてください／仏事のしきたりや疑問（編集部や住職がお答えします）など。
- 嬉しい・楽しい／嬉しかったこと、楽しかったこと、悲しかったこと、怒ったこと。

はこちらが感動してしま  
いました。先回の季刊誌で廣井  
晃さんから紹介していただ  
いた「フェニックス」。素晴  
らしかったですね。土手の観  
覧席では素晴らしい花火に  
は拍手と歓声が常ですが、こ  
のときは拍手のあと周りか  
ら声があがらない。震災復興  
祈願ということで市民が持  
ち寄ったお金で打ち上がった  
花火です。市民は何らかの  
かたちで被災を受けおり、い  
ろんな思いが「フェニックス」  
とともに脳裏に浮かんでき  
たのでしょうか。皆さんが目頭  
をおさえて復興への願いを  
祈っているかのようにした。  
長岡花火は大戦の被害者  
の方の慰霊と戦後の復興を  
願って始まったものでは  
が、中越地震からの復興の  
象徴として、この「フェニッ  
クス」が継続してほしいと  
願っています。

他愛無い編集後記ですが  
こんな投稿を大勢の皆様か  
ら頂きたいんです。どこか  
での感動、想い、お孫さんの  
活躍。なんでも結構です。  
原稿をお待ちしています。  
(高橋 潔)